

Case02

株式会社  
松本製作所

代表者メッセージ

専務取締役  
松本 光太郎一貫生産で「防熱扉」業界シェアNo.1  
技術革新で心動かすものづくりに従事

当社は創業当時より培ってきた「経験」、自由で柔軟な「発想」、不可能を可能にしてきた「対応力」を武器に、ものづくりを探究し続けている厨房機器メーカーです。多数手がける防熱扉の施工数は年間約2,000台。今や国内外から信頼されるリーディングカンパニーとして一貫した生産体制を誇り、製品力向上を目指し、多角的側面からアプローチしております。今後もワンランク上のニーズに高感度で対応し、お客さまの未来の可能性が広がる商品づくりのご提案とイノベーションを巻き起こす企業であり続けたい所存です。

企業情報

|      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| 所在地  | 香川県木田郡三木町井上3800-22<br>高松東ファクトリーパーク1号 |
| TEL  | 087-814-4677                         |
| 設立   | 1970年4月                              |
| 代表者  | 松本 洋篤                                |
| 業種   | 厨房機器製造業                              |
| 従業員数 | 46名                                  |
| 事業内容 | 防熱扉やショーケースなどの設計・製造・販売・施工等            |

事業計画名

需要が高まる軽量型冷蔵・冷凍庫用  
簡易型防熱扉の試作・開発事業

近年、食品業界など大型物件において商品保管用倉庫の防熱扉の受注が伸びている。食品衛生上の問題も顕著化されており、クリーン機器の要望が高く、当社でも従来型の木材を使用した防熱扉ではなく軽量型簡易防熱扉の開発を課題としていた。そこでシャーリング機を導入し、課題解決に取り組むこととした。

## 取り組みの経緯



当社は防熱扉や冷凍・冷蔵設備などの設計・製作・販売を軸とし、豊洲新市場の防熱扉受注など多くの実績を有している。近年は食品加工会社など小型冷蔵庫に使用する簡易型防熱扉の需要が高まると共に、国内外からの依頼も増加。特に菌が発生しやすい加工場などに使用される温度管理の可能な防熱扉へのニーズがあり、軽量かつクリーンルームでも使用できる軽量型防熱扉の試作・開発を急務としていた。

## 実施内容

食品加工工場では衛生面を踏まえ、木を使用すること自体がタブー視されつつある。そこで業界初となるアルミ型材及び樹脂枠等量産可能な製品を開発し、高品質で低コストの製品づくりを試みた。本事業においてはシャーリングマシンを導入し、各種施策の検証(簡易扉パネルの製造、パッキングホルダーの製造、システム開発)等を行い、製品化に向けて駆動部分や制御部分の検討を実施することとした。



## 成果



シャーリングマシンは操作が非常に簡単であり、経験値に関わらず高精度の切断をすることが可能となったことで、製作現場では表面材を切断する所用時間も大幅に短縮できた。またランニングコストにおいては従来の10分の1が見込まれる。従来工法の木材を使用した防熱扉に比べ低コストを実現できる軽量式防熱扉は、耐腐食性にも優れ、食の衛生面においても今後、画期的な役割を担うと予想され、時代のニーズにマッチした製造が可能となった。

2種のISO規格を  
取得しマネジメント  
システムで一步先を  
リードする企業へ

当社は品質面でより良い製品を創造するためのシステムの管理体制を構築。また環境保全等を守るために、2019年1月にはISO9001及びISO14001の2つの規格を取得。今後も顧客満足度の向上と共に地域に貢献しながら持続可能な企業を目標とし、世界と時代の礎を担い邁進し続ける企業を目指します。